

科目名	ケーススタディ政策評価（1クラス）	
担当者	塚本壽雄	
配当学期	春学期	
単位	2単位	
授業概要	<p>政策評価（NPO等の事業評価も同様）ができるためには、何よりも対象政策・事業を「目的手段の体系」（ロジックモデル）として整理し、その「成功」とは何かをその指標とともに明らかにできる能力が不可欠である。</p> <p>この授業では、受講者の提案する政策課題を題材として、PCM参加型計画手法による問題分析、目的分析、プロジェクト選択等の手法を学び、ワークショップ形式で演習することにより、当該能力を身につける。</p>	
授業の到達目標	政策評価（NPO事業評価等を含む）に必要な基礎能力を身につける。	
授業計画	<p>前半は講義形式、後半はワークショップ形式とする。</p> <p>(1) イントロダクション</p> <p>(2) 政策の評価・ロジックモデルと政策のマネジメント</p> <p>(3) PCM参加型計画手法（ロジカルフレームワークと作成手順）①</p> <p>(4) 同②</p> <p>(5) ロジカルフレームワークと評価・評価の手法</p> <p>(6) ワークショップⅠ：問題分析①</p> <p>(7) 同：問題分析②</p> <p>(8) 同：問題分析③</p> <p>(9) 同：目的分析</p> <p>(10) 同：アプローチ選択（活動計画）、ロジカルフレームワーク作成</p> <p>(11) ワークショップⅡ：問題分析①</p> <p>(12) 同：問題分析②</p> <p>(13) 同：目的分析、アプローチ選択（活動計画）、ロジカルフレームワーク作成</p> <p>(14) ワークショップⅢ：メタ評価（事業仕分け資料・評価報告書の評価）</p> <p>(15) まとめ</p>	
教科書	なし。授業の都度教材を配布する。	
参考文献	財団法人国際開発高等教育機構『PCM開発援助のためのプロジェクト・サイクル・マネジメント 参加型計画編』（改訂第7版、2007）	
成績評価方法		評価基準
	試験 %	

	レポート 100%	期末課題（問題分析）
	平常点評価 %	
	その他 %	
関連 URL		
備考	<p>公共政策やNPO等の事業について関心があればよく、評価に関する特段の予備知識は要しない。</p> <p>本科目について不明の点等があれば、遠慮なく、塚本の授業用メールアドレス (eval@cls.waseda.jp) まで照会されたい。</p>	